

## ボツワナ共和国月報(2024年8月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 大統領退職金法案等の撤回
- 政党助成金法案の可決
- イサック・コシ死去
- BDP、セラメ財務大臣の予備選結果を巡る異議申立を却下
- エムポックス感染対策を強化

#### 【外政】

- マシシ大統領、カガメルワンダ大統領の就任式に出席
- マシシ大統領、第44回SADC首脳会合に出席
- クワペ外務大臣、TICAD閣僚会合に出席
- SADC議員フォーラム(SADC-PF)、マシシ大統領を表敬
- 駐ボツワナ英国高等弁務官、マシシ大統領に信任状捧呈
- 駐ボツワナ中国大使、マシシ大統領に信任状奉呈

#### 【SADC関連】

- 第44回SADC首脳会合の開催

#### 【経済】

- ボツワナ政府、HBアントワープへの出資引上げへ
- 中国企業の再エネ分野への参入
- セラメ財務大臣、財政再建を表明
- 2024年第4回金融政策会合-政策金利を1.9%に引下げ-
- 7月インフレ率は3.7%-前月より0.9%上昇-
- 6月の国際商品貿易統計-10か月連続の貿易赤字-

#### 【文化・スポーツ】

- パリ五輪陸上男子200m ボツワナ史上初の金メダルを獲得
- 史上2番目に大きいダイヤモンドを採掘

#### 【当館関連行事】

- アフリカ市民社会評議会(CCFa)によるTICAD閣僚級会合メディアブリーフの開催
- 小学校幼児教育棟建設計画の起工式

#### 【内政】

- 大統領退職金法案等の撤回

3日、モルワエン大統領府担当大臣は、7月30日に国民議会に提出した大統領、元副大統領、国民議会議員の退職金等に関する3法案を撤回すると正式に発表した。これらの法案に対しては、国民から即座に否定的な反応が生じた他、野党からも現政権

の腐敗と貪欲さの証左だとして激しく批判されていた。

#### ○ 政党助成金法案の可決

6日、ボツワナ初となる政党助成金法案が可決された。同法では、各党に分配される助成金は直前の選挙結果に基づいて決定され、5%以上の票を獲得した政党に助成金の50%が獲得票数に応じて分配され、残り50%が各党の獲得議席に応じて分配される。この法律の施行は、2024年総選挙後となる。

#### ○ イサック・コシ死去

11日、カーマ前大統領政権下で創設された情報安全保障局の局長を務めたイサック・コシが死去した。同氏はカーマ前大統領に近い人物として知られ、同前大統領と共に銃火器不法所持等30の罪で起訴されていた。

#### ○ BDP、セラメ財務大臣の予備選結果を巡る異議申立を却下

15日、ボツワナ民主党(BDP)はグッドホープ・マテテ選挙区の予備選結果についてのセラメ候補(財務大臣)からの異議申立を却下した。一方で、BDPの選挙管理委員の投票箱等の管理に規則違反の問題が見つかり、同財務大臣は引き続き予備選のやり直しを求めて裁判所に訴えるなど、事態の収束は見えない。

#### ○ エムポックス感染対策を強化

19日、保健省は、エムポックス感染対策強化に向け、ハボローネ空港、マウン空港及びいくつかの国境にて、スクリーニングを実施する旨を発表した。なお、20日時点では国内のエムポックス感染事例は確認されていない。

#### 【外政】

#### ○ マシシ大統領、カガメ・ルワンダ大統領の就任式に出席

11日、マシシ大統領は、ルワンダのキガリを訪問し、カガメ大統領の就任式に出席した。マシシ大統領は、ルワンダとの関係強化に意欲を示し、ルワンダの大統領の任期に係る2017年の憲法改正を歓迎した。ホファモディモ外務大臣代行が同行した。

#### ○ マシシ大統領、第44回SADC首脳会合に出席

17日、マシシ大統領は、ジンバブエのハラレで開催された第44回SADC首脳会合(下記参照)に出席した。クワペ外務大臣が同行した。

#### ○ クワペ外務大臣、TICAD閣僚会合に出席

24~25日、クワペ外務大臣は、TICAD閣僚級会合に出席するため、東京を訪問した。

同外務大臣は、同会合の傍ら、上川外務大臣と二国間外相会談を実施し、産業多角化のための中小企業振興、ダイヤモンド資源からの収益を有効活用してきたボツワナの知見を活かした南部アフリカ地域の鉱物資源ガバナンス強化といった分野で両国間の連携を強化していくことで一致した。また、クワペ外務大臣は、田中JICA理事長とも会談した。

○ SADC議員フォーラム(SADC-PF)、マシシ大統領を表敬

20日、ムデンダ・ジンバブエ国会議長率いるSADC議員フォーラム(SADC-PF)は、マシシ大統領を表敬訪問した。本訪問は、SADC-PFをSADC議会とするSADC条約の改正案に署名するようボツワナに働きかけるロビー活動の一環とみられている。

○ 駐ボツワナ英国高等弁務官、マシシ大統領に信任状捧呈

26日、エンティックナップ・駐ボツワナ英国高等弁務官が、マシシ大統領に信任状を捧呈した。同大統領は、英国はボツワナの独立以来、最も安定した長期的な外交パートナーであり、この関係は維持されるべきだと強調した。

○ 駐ボツワナ中国大使、マシシ大統領に信任状奉呈

26日、范(ファン)・駐ボツワナ中国大使が、マシシ大統領に信任状を捧呈した。同大統領は、9月に中国で開催される中国・アフリカ協力フォーラム(FoCAC)への出席を約束した。また、同大統領は、ジュワネンでの太陽光発電所開発における中国企業との合弁事業に触れ、政府レベルだけでなく民間レベルでも両国の協力関係に満足していると述べた。

【SADC関連】

○ 第44回SADC首脳会合の開催

17日、第44回SADC首脳会合がジンバブエのハラレにて開催された。本会合には、コモロを除くSADC加盟各国から首脳等が出席し、SAMIMの完了、SADC特別代表及びSAMIDRC団長の事務所創設の承認、エスワティニ情勢のトロイカ議題からの除外、COMESA-ECA-SADC拡大自由貿易圏(TFTA)設立協定の発効、アルビノを持つ人の保護に関するSADC宣言の採択、エムボックスに関する注意喚起、干ばつ・洪水に対する地域人道アピールの再確認等の議題が扱われた。

【経済】

○ ボツワナ政府、HBアントワープへの出資引上げへ

ボツワナ政府は、ダイヤモンドの市場価格下落を受け、ベルギーHBアントワープへの出資比率を引き上げる。当初、ボツワナは6,500万ドルを提示して24%の株式を取得し

たが、今年に入り、ダイヤモンド市場価格が6%下落したため、当初額を維持したまま、追加株式を取得できることとなった。モアヒ鉱物・エネルギー大臣は、ボツワナ政府の同社に対する持分を49.9%まで増やすことを目指すと述べた。

#### ○ 中国企業の再エネ分野への参入

12日、中国港湾工程有限責任公司は、国営ボツワナ電力公社(BPC)との間でジュワネンでの100メガワットの太陽光発電所建設に合意し、25年間の売電契約を締結した。署名式に出席した在ボツワナ中国大使館経済商務参事官は、中国は自国のグリーンエネルギー技術をボツワナと共有し、中国企業の投資を促進する用意がある旨述べた。

#### ○ セラメ財務大臣、財政再建を表明

12日、セラメ財務大臣は、国民議会において財政状況について報告し、鉱業を中心に経済活動の低迷が財政に影響を及ぼしていることを指摘、財政健全化プログラムに取り組み、財政バッファーを持続可能なレベルへ再構築する旨、述べた。

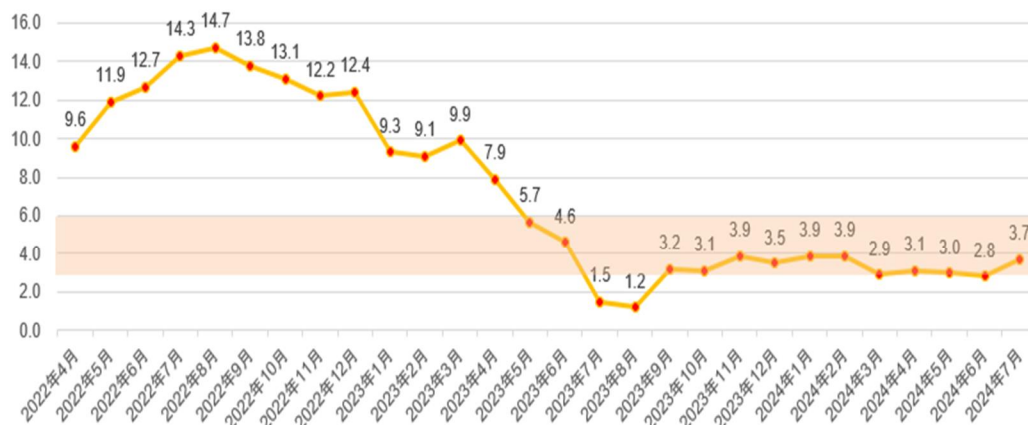
#### ○ 2024年第4回金融政策会合-政策金利を1.9%に引下げ-

22日、ボツワナ銀行の金融政策委員会(MPC)は、金融政策金利(MoPR)を2.15%から1.9%へ引き下げた。同行は、ダイヤモンド産業の業績悪化や非鉱業セクターの業績低迷によるボツワナ経済の減速に加え、政府の経済変革やマクロ経済政策によるめぼしい経済成長が見通せない中、需要主導のインフレ圧力が発生しないと予測。こうした中、同行は、今年2回目の利下げを決定した。

#### ○ 7月インフレ率は3.7%-前月より0.9%上昇-

7月の年間インフレ率(前年同月比)は3.7%となり、前月のインフレ率(同)2.8%から0.9%上昇した。分野別寄与度は、上位から運輸(1.5%)、雑貨・サービス(0.7%)、食品・非アルコール飲料(0.6%)であった。

(図: 最近のインフレ率の推移)



注:  ボツワナ銀行中長期インフレ目標 (3%から6%)

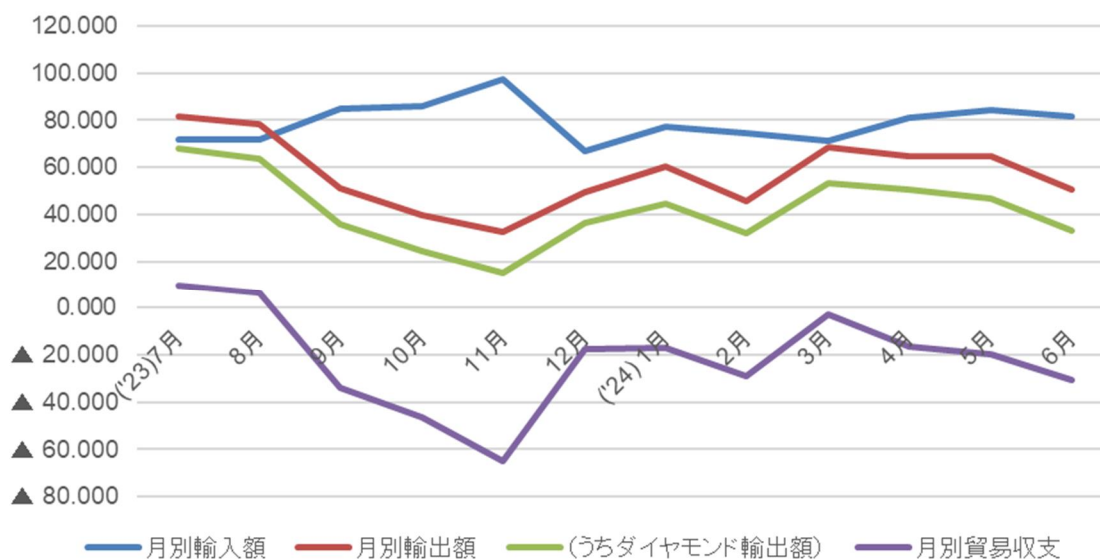
○ 6月の国際商品貿易統計-10か月連続の貿易赤字-

6月の輸入総額は81.472億プラとなり、前月の84.457億プラ(改定値)から3.5%の減少、一方で輸出総額は、50.677億プラとなり、前月の64.702億プラ(改定値)から21.7%減少した(図)。輸出額の大幅な下落は、ダイヤモンド輸出額が対前月比で29.2%下落したことによる。この結果、同月の貿易収支は30.795億プラの赤字となり、2023年9月以降10か月連続の貿易赤字となった(同)。

(図: 月別貿易収支の推移: 2023年7月から2024年6月)

	('23)7月	8月	9月	10月	11月	12月	('24)1月	2月	3月	4月	5月	6月
月別輸入額	71.744	71.991	84.924	85.978	97.388	66.865	77.435	74.517	71.456	81.254	84.457	81.472
月別輸出額	81.704	78.364	50.966	39.457	32.433	49.463	60.419	45.566	68.661	64.980	64.702	50.677
(うちダイヤモンド輸出額)	67.778	63.615	35.999	24.185	15.282	36.332	44.757	31.835	53.354	50.537	46.681	33.030
月別貿易収支	9.960	6.373	▲ 33.958	▲ 46.520	▲ 64.955	▲ 17.401	▲ 17.016	▲ 28.951	▲ 2.795	▲ 16.274	▲ 19.755	▲ 30.795

注) 2024年6月は速報値



(参考) 分野別内訳：上位5分野 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド 23.4	燃料 15.8	飲食品等 14.0	機械・電機 14.0	化学・ゴム製品 10.3
輸出	ダイヤモンド 65.2	銅 18.6	機械・電機 5.0	塩・ソーダ灰 1.9	運輸機器 1.7

(参考) 国別内訳：上位5か国 (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 57.9	ナミビア 20.3	インド 3.7	中国 2.9	モザンビーク 2.1
輸出	UAE 27.0	南ア 15.2	インド 14.2	ベルギー 12.2	豪州 10.5

## 【文化・スポーツ】

### ○ パリ五輪陸上男子200m ボツワナ史上初の金メダルを獲得

8日、パリ五輪の陸上男子200mの決勝が行われ、レツィレ・テボホ選手が、19秒46の自己ベストタイムで金メダルを獲得した。これによりボツワナは史上初の金メダルを獲得し、同競技においてアフリカ初の金メダル獲得となった。また、ボツワナチームは、男子4×400mリレーにて銀メダルを受賞した。この偉業を受け、マシシ大統領は9日と13日をそれぞれ半日ずつ祝日とした。

### ○ 史上2番目に大きいダイヤモンドを採掘

ルカラ社が、カロウェ鉱山から2,492カラットのダイヤモンドを採掘した。これは、これまでにボツワナ国内で発見された中では最大、また世界では2番目に大きいダイヤモンドである。マシシ大統領は、このダイヤモンドの発見は、ボツワナが世界的なダイヤモンド産出国として上昇を続けていることを象徴していると指摘した。

【当館関連行事】

○ アフリカ市民社会評議会 (CCfA) によるTICAD閣僚級会合メディアブリーフの開催

19日、アフリカ市民社会評議会 (CCfA) は、TICAD閣僚級会合メディアブリーフを開催し、大森大使、西野アフリカ第一課長、殿川JICAボツワナ支所長等が出席した。各種メディアを対象に、これまでの日・ボツワナ協力やTICAD閣僚会合に向けた情報共有が行われた。

○ 小学校幼児教育棟建設計画の起工式

21日、大森大使出席の下、令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力(ンコヤピリ小学校幼児教育棟建設計画)の起工式が行われ、ラカレ青少年・ジェンダー・スポーツ・文化大臣、小学校長他、約100名が出席した。本事業は同小学校敷地内に、幼児教育棟を新たに建設することにより、質の高い幼児教育を提供するもの。

(了)